

■授業の目的

グローバル化する現代社会において、世界諸地域の自然環境や歴史的背景・文化を知ることは、これからますます重要になる。「地誌」は地域像を理解する手がかりとなるので、世界各地域の基礎的知識・教養を身につけることを目指す。

■授業の到達目標

メンタルマップで、世界地図をおおまかに描け、その中に学んだ事象を記入し、各地域の特徴を把握できていること。さまざまな地域の国と我が国を比較し、共通性や特殊性を認識するとともに、国際理解に資する。

■授業計画

- 1 ヨーロッパ・ロシアⅠ
ヨーロッパの地形と気候（地形の特徴、気候、農業地域）。ヨーロッパの民族・宗教・言語、EU（ヨーロッパ統合の歩み）。
- 2 ヨーロッパ・ロシアⅡ
イギリス（地形と気候、産業の発達）。オランダ（ポルダーの形成、デルタ計画、21世紀の海面上昇に備えて）。バチカン市国
スイス（小さい巨人、観光立国の戦略、首都ベルンと主要都市）。
- 3 ヨーロッパ・ロシアⅢ
ロシアとその周辺諸国（ソビエト連邦の成立と崩壊、自然環境、ロシア連邦の産業・シベリア開発）。
- 4 ヨーロッパ・ロシアⅣ
ウクライナ。バルト3国。中央アジアの国々。カフカス3国。モルドバの特徴。
- 5 アングロアメリカⅠ
アングロアメリカの地形と気候。アメリカ合衆国の自然災害（竜巻、地方風、地震・火山災害、その他の自然災害）。
- 6 アメリカ合衆国
「移民の国」多民族国家（WASPとヒスパニック）。世界の食料基地（アメリカの農業地域）、鉱工業の発展とサンベルトの形成
アメリカ多国籍企業。
- 7 カナダ
広い国土と多文化主義。カナダの先住民（ストーニー族、ハイダ族、イヌイットとエスキモー）。
- 8 ラテンアメリカⅠ
ラテンアメリカの地形と気候（地形の特徴、気候）。メキシコ合衆国（自然環境の特色、多様な文化、マヤ文明、海上都市メキシコシティ）。
- 9 ラテンアメリカⅡ
ブラジル（自然・多民族社会の形成、ノルデステと呼ばれる地域、アマゾンと日本人移民）。アンデス山中の高山都市（インカ帝国の盛衰、高山都市の発展、アンデスでの暮らし）。
- 10 オセアニア・ハワイⅠ
オーストラリア（安定陸塊のオーストラリア、気候と農業地域、豊富な鉱産資源と輸出、アボリジニの生活、白豪主義から多文化主義へ）。
- 11 オセアニア・ハワイⅡ
ニュージーランド（地形の特徴、気候と産業、マオリの生活、西欧人の渡来から近代国家の成立へ、ポリネシア・トライアングル）。フィジー（南太平洋の島国、歴史）。
- 12 オセアニア・ハワイⅢ
フィジー系住民の生活と文化、フィジーの経済を支えてきた砂糖産業、観光産業への転換。観光開発がもたらすもの。
ハワイ（地形と気候の多様性、歴史と開発）。
- 13 環境問題の克服
地球環境問題の現状。水と食料が不足する。増えすぎる炭素・窒素・リン。化学物質による汚染。外来種の問題。
- 14 日本と世界のこれから
グローバル化のなかで日本を考える（貿易・ODA、日本企業の海外進出、領土問題、国連、TPPでの日本の役割）。
- 15 後期地誌のまとめ
ヨーロッパ・ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアの地誌の整理と演習。メンタルマップの作成。

■授業の方法

資料を書画カメラやPCを使用しながら、各回のプリント演習をベースに進めていく。毎回毎に小テスト（記述式）で知識の定着化を図る。メンタルマップの作成や作業学習で自発的な学習展開を行う。

■予習・復習

教科書の内容を予め読んでおくことを求め、知識・理解・判断を求める内容を含む作業的プリントの予習を求める。各地域の地誌を学ぶうえで重要な基礎的知識については小テストで確認していく。

■成績評価の方法

作業プリントの取り組み状況をチェックし、日常の小テストの出来を評価（20％）に入れる。メンタルマップの提出により地理的事象がそこにどれだけ反映しているかをみる（10％）。前・後期テスト（70％）。

■教科書・参考書

教科書 図説 世界地誌【改訂版】辰巳 勝・真知子著（古今書院）

参考書 新詳高等地図（帝国書院）